

相馬通信 (7月)

相馬民報 2022年(令和4年)7月7日(木)

相馬の有志 音楽隊設立目指す

音楽による地域活性化を目指す相馬市の有志は、相馬市在住や出身、または同市ゆかりの音楽家などをつくる組織「相馬市&相馬市ゆかりの音楽隊(仮称)」の設立を目指す。発起人らが五日、市内の相馬商工会議所で構想などを示し、今後の活動に意欲を示した。相馬市出身または相馬とつながりが深く市内外で活動している音楽家は多く、さまざまなジャンルで活躍の場を広げているという。こうした音楽家らに音楽隊の会員になっても

出身、ゆかりの演奏家や歌手

ら、定期的に相馬市内での演奏会やイベントを開いて一流の演奏家を市民に届ける機会を創出する。会員候補には歌手さとう宗幸さん、バイオリンニスト天満敦子さんから一流音楽家らの名も挙がっている。地道に

コンサートなど開催へ

音楽活動を続け、まだ知られていない地元ゆかりの演奏家や歌手の「発掘」も進めたい考え。発起人らは今後、自薦他薦を問わず市民から広く会員候補の情報を募る。会員選定を経て年内を目標に音楽隊の設立総会を開き、活動を本格化させたいとしている。

概要を説明した発起人の草野清貴(相馬商工会議所会頭、フルート奏者)とエル・システマジャパン音楽監督を務める岡崎明義さん(相馬市出身)は「相馬とゆかりがある音楽家たちの輪を広げ、地元での演奏機会を増やす基盤組織にしたい」と話した。さらに「われわれが知らない相馬ゆかりの音楽家がまだいると思う。多くの情報を寄せてほしい」と求めた。

情報提供などの窓口は音楽隊事務局(相馬商工会議所内) 電話 0244(36)3171 へ。

音楽隊設立へ地元ゆかりの音楽家の情報提供を求める草野会頭(右)と岡崎さん



(註) 音楽による相馬地域の活性化を目指し奮闘中のお二人(敬称略)

草野清貴 高普第 17 回、昭和 40 (1965) 年卒、中村出身

岡崎明義 高普第 20 回、昭和 43 (1968) 年卒、中村出身